

経済産業省における 海外向け情報発信について

令和元年11月1日 経済産業省 大臣官房福島復興推進グループ

広報動画やWeb記事を活用した情報発信①

- ●福島の生活環境整備の進展、復興に向けた主な動向についての動画を作成しYouTubeで公開。
- ●訪日外国人観光客向けのWebメディアである「MATCHA」と連携し、福島県の食の魅力などを伝える5つの広報記事を全8言語(日本語、英語、中国語(繁体字・簡体字)、タイ語、韓国語、インドネシア語、ベトナム語)で作成、Web上で公開。

広報動画(日·英)



「Fukushima Today -8 years after the Earthquake-」 (2019年5月)

福島第一原子力発電所の廃炉の進捗、生活環境整備の進展、なりわい・産業の再生など、福島復興に向けた状況について伝える。

Web記事(多言語)



日本の魅力が凝縮! 福島でやりたい10のこと (2019年1月)



史上初の6年連続最多金賞! 日本酒大国・福島の"金賞酒 蔵"を訪ねてみた (2019年1月)



最高にうまい! 福島の誇るブランド「常 磐もの」を追って (2019年2月)



だから、私たちは福島に住む 在住 外国人インタビュー (2019年3月)



福島第一原発は今?現場を歩いて わかった5つのこと(2019年3月)

広報動画やWeb記事を活用した情報発信②

- ●東京電力福島第一原子力発電所の現状や廃炉・汚染水対策の進捗に関する動画やパンフレットを作成、英語版への翻訳を行ったほか、動画については中国語・韓国語・タイ語の字幕も付与。
- ●これらのコンテンツについて、IAEA(国際原子力機関)総会などの国際的な会議の場での動画上映・配布、在京大使館・在外公館等を通じた周知など、海外各国への幅広い発信を実施。

広報動画(日・英・中・韓・タイ)



Fukushima Today 2019 -Efforts to Decommissioning and Reconstruction-(2019年8月)

パンフレット(日・英)



Important Stories on Decommissioning2019 (2019年7月)

外国政府・プレス等に対する広報活動

- 在京外交団担当者を対象に、外務省と協力し、ALPS処理水に係る現状及びALPS小委の概要に関する「在京外交団ブリーフィング」を実施。(2018年10月及び2019年9月)
- WTO衛生・植物検疫(SPS)委員会(2019年7月)において、日本産食品のモニタリング結果、IAEAの評価結果及び日本産食品に対する各国の規制撤廃・緩和の状況等について紹介。併せて、欧州連合向けの説明会を開催し、日本産食品の安全性及び安全管理、福島第一原発の現状及び汚染水対策などにつきプレゼンテーションを実施。
- 外国プレスに対しては、経産省・東京電力合同で、毎年、「**外国プレス向けブリーフィング」**(2019年2月)を 実施。汚染水を含む福島第一原発廃炉全般に係る情報提供。
- その他、**G7**や各国政府との**二国間委員会**、海外での各種イベントの場等を活用し、福島第一原発の廃炉・ 汚染水の状況等について説明。



在京外交団ブリーフィング (2019年9月)



外国プレス向けブリーフィング (2019年2月)

国際機関との協力

- <国際原子力機関(IAEA)>
- ·第4回IAEAレビューミッションを受入れ(2018年11月)。最終報告書を2019年1月に受領・公表。
- ·第63回IAEA総会(2019年9月 於:オーストリア・ウィーン)において、
 - →日本政府代表演説にて福島第一原発の現状を説明。日本産食品輸入規制の早期撤廃を呼びかけ。
 - →福島第一原発廃炉及び食の安全に係るサイドイベントを開催。
 - →日本政府主催レセプション及び日本展示ブースにおいて、廃炉・汚染水対策の動画及び福島復興動画を 上映し、福島県産のお酒を提供。
- ・IAEAウェブサイトでの情報公開(サブドレンの状況 (毎月1回)、包括的情報(四半期に1回))
- <経済協力開発機構/原子力機関(OECD/NEA)>
 - ・「福島第一原発廃炉・食品安全に関するシンポジウム」開催。 (OECD/NEA・経産省・農水省共催)(2019年3月)

<IAEAレビューミッション> 福島第一原発サイト調査、磯崎副大臣(当時)による報告書受領の様子





<第63回IAEA総会> 日本政府代表演説、サイドイベントの様子





<OECD/NEA> 福島第一原発廃炉・食品安全に関するシンポジウム



福島県産品を使用したレセプション

